

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/12/19号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

IEAが世界石油需要見通しを引き上げ

NY原油先物相場は、1バレル=74ドル台前半まで切り返す展開になった。短期的な下げ過ぎ感が強くなっていたこと、国際エネルギー機関（IEA）が世界石油需要見通しを引き上げたことで安値修正の動きが強まり、一時77.77ドルまで切り返した。ただ、週末にかけては改めて世界経済の減速懸念を織り込む動きも見られ、上げ幅を削っている。米エネルギー省（DOE）は12月16日、戦略石油備蓄（SPR）向けの買い付けを300万バレル規模で開始すると発表した。

需要リスクの評価に揺れ動く展開が続いている。世界各国の中央銀行が利上げ対応を進めていることで、2023年の世界経済の減速、更にはリセッション（景気後退）入りのリスクが警戒されていることはネガティブ。世界的に株価が不安定化しており、原油相場の上値も抑えられている。ただ、IEAが12月14日発表の月報で、世界石油需要見通しを22年で日量14万バレル、23年で10万バレル引き上げたことで、逆に値ごろ買いを入れる動きもみられ、前週比で3.27ドル高となった。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（12月9日時点）は、原油が前週比1,023万バレル増、ガソリンが450万バレル増、石油精製品が136万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

景気減速懸念の上値圧迫続くも、需要見通し改善で下げ渋る展開

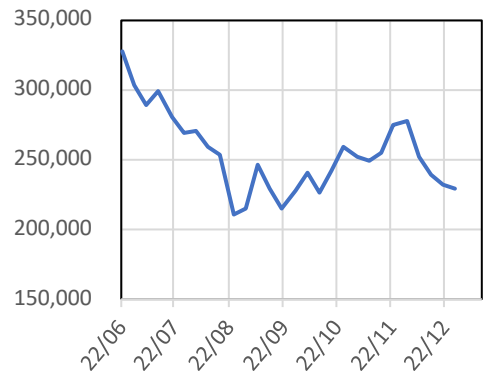
需要環境に対する不信感の後退を受けて、下値は固まる方向性になる。世界経済の減速懸念が上値を圧迫する展開は続くが、IEAが良好な石油需要環境・見通しを示したことで、必ずしも原油需給が緩和する訳ではないとの見方が強くなっている。当面は供給過剰状態が続く見通しだが、2023年の需給ひっ迫、価格上昇リスクが下値を支えることになる。クリスマス休暇に向けて、このまま現行価格水準で上昇余地と下落余地がともに限られたボックス気味の展開になり易い。

IEAは世界石油需要見通しについて前年比で、2022年の日量230万バレル増に対して23年は170万バレル増との見通しを示している。先進国は景気減速で需要が抑制されるが、中国经济再開などの影響で、世界全体としては力強い需要拡大が見込まれている。23年4～6月期には需給バランスがほぼ均衡化し、年後半には供給不足化が進むことで、価格上昇の可能性が排除できないと報告されている。マクロ需給環境に対する信頼感が取り戻されていることはポジティブ。

直ちに需給がひっ迫化する訳ではないため、株式市場で景気リスクの織り込みが活発化すると、原油相場の上値も圧迫され易くなる。ただ、大きく値を崩すリスクは徐々に後退している。

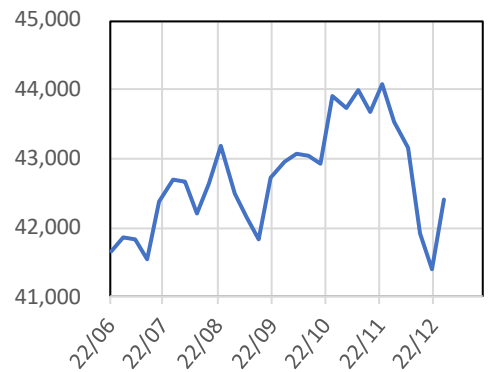
また、DOEがSPR向け原油購入の再開を発表したことも強力なポジティブ材料になる。まだ詳細な計画は明らかにされていないが、まずは300万バレルを試験的に購入し、その後のSPR積み増しを模索することになる。今年は1億8,000万バレルがSPRから放出されたが、今後はSPRが供給要因から需要要因に転換することになることは新たなサポート要因になる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



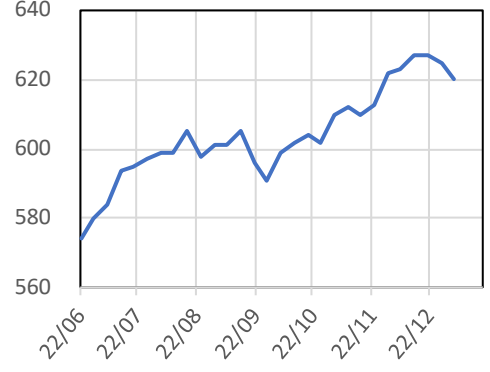
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

